

夢のマッスルスーツ体感 原町二小



マッスルスーツを試着する児童ら

原町二小は22日、南相馬市原町区の同校で着用型の筋力補助装置「マッスルスーツ」の体験授業を開いた。同装置を開発した東京理科大学の小林宏教授が講師を務め、児童らがロボット研究について学んだ。

小林教授は4年生の国語の教科書に掲載されている「『ゆめのロボット』を作る」の執筆者。授業は同市の工場でマッスルスーツを製造する菊池製作所の協力で、4年生約30人が体験した。

小林教授はロボットの歴史やロボット開発の経緯などを説明。続いて児童らはマッスルスーツを試着し、装置の力強い動きに驚いていた。